

Ⅲ 特別な配慮を必要とする男女への支援

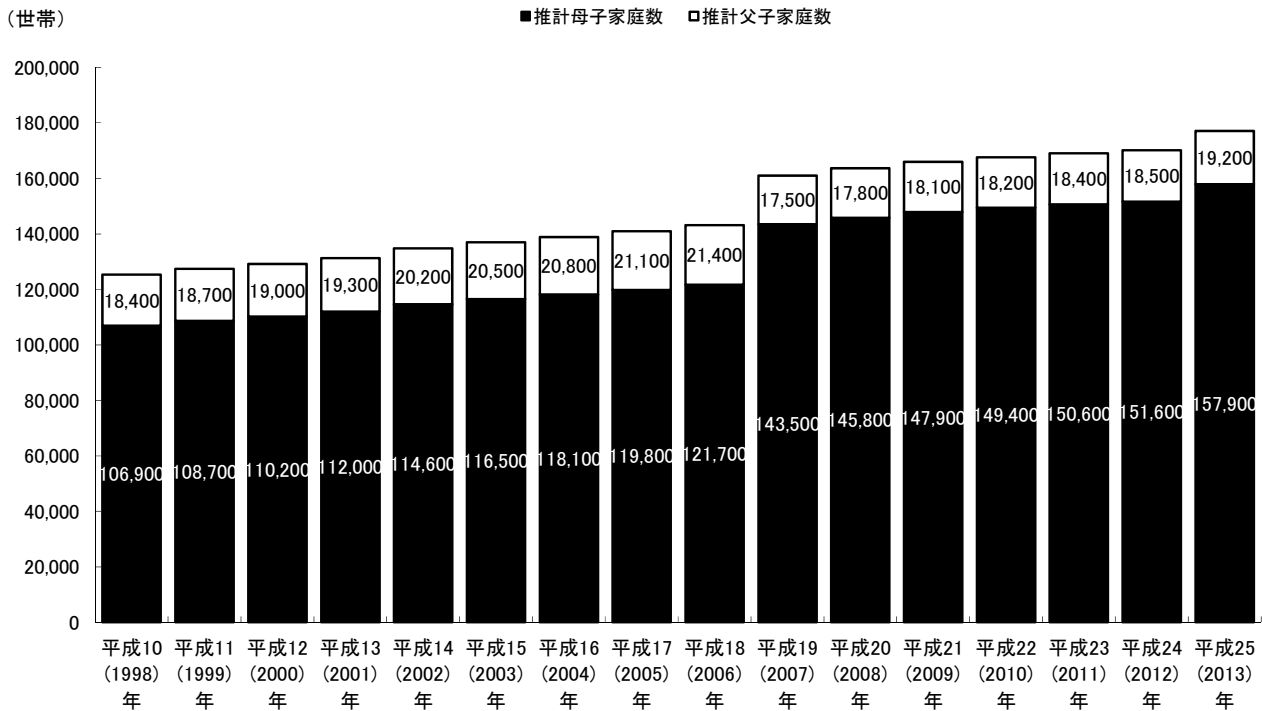
(1) ひとり親家庭への支援

Ⅲ-1 ひとり親家庭

1. ひとり親家庭の世帯数

都のひとり親家庭の世帯数は平成 25 (2013) 年 1 月 1 日現在で、母子家庭が 157,900 世帯、父子家庭が 19,200 世帯と推計されている。

図表Ⅲ-1-1 母子家庭・父子家庭の推計値(都)



注：東京都社会福祉基礎調査による、三世帯同居世帯を含む母子家庭・父子家庭の出現率に、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」における各年1月1日人口を乗じたもの

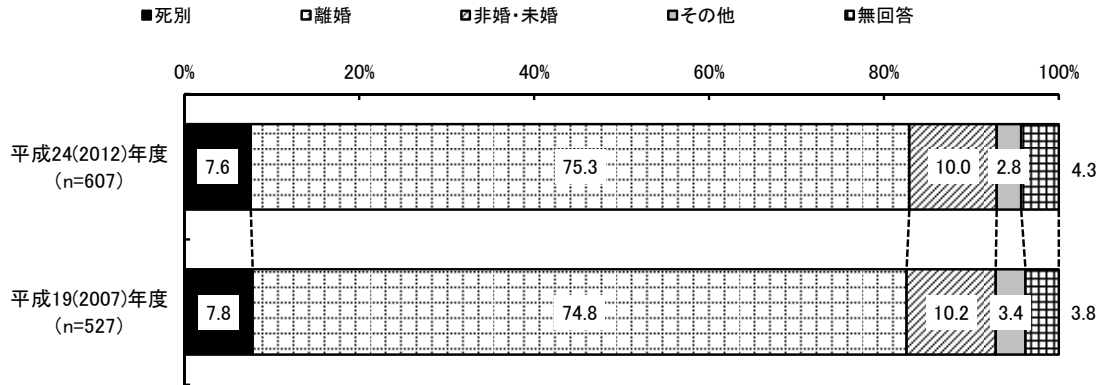
資料：東京都福祉保健局調べ

Ⅲ 特別な配慮を必要とする男女への支援

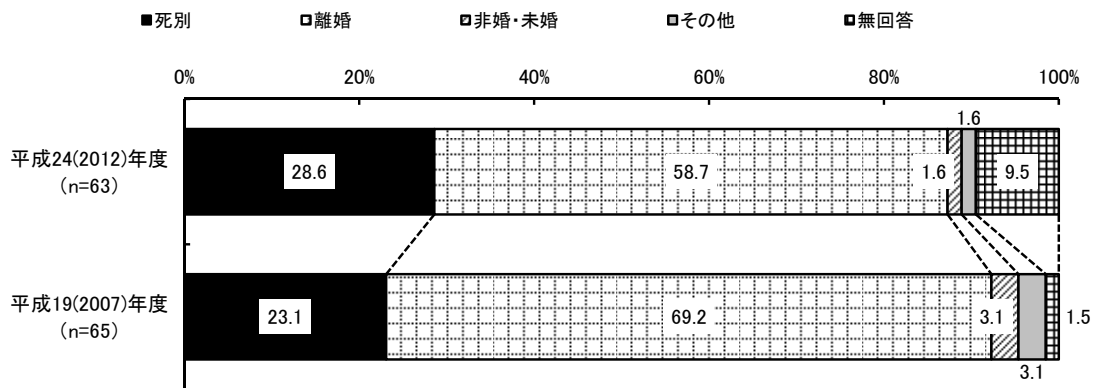
2. ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合

都の調査では、ひとり親家庭になった理由は、母子家庭においては離婚が75.3%と最も多く、父子家庭においては離婚が58.7%、次いで死別が28.6%となっている
 全国調査では、母子家庭においては離婚が80.8%と最も多く、父子家庭においても離婚が74.3%、と最も多くなっている

図表Ⅲ－１－２ ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合（都）
 <母子家庭>

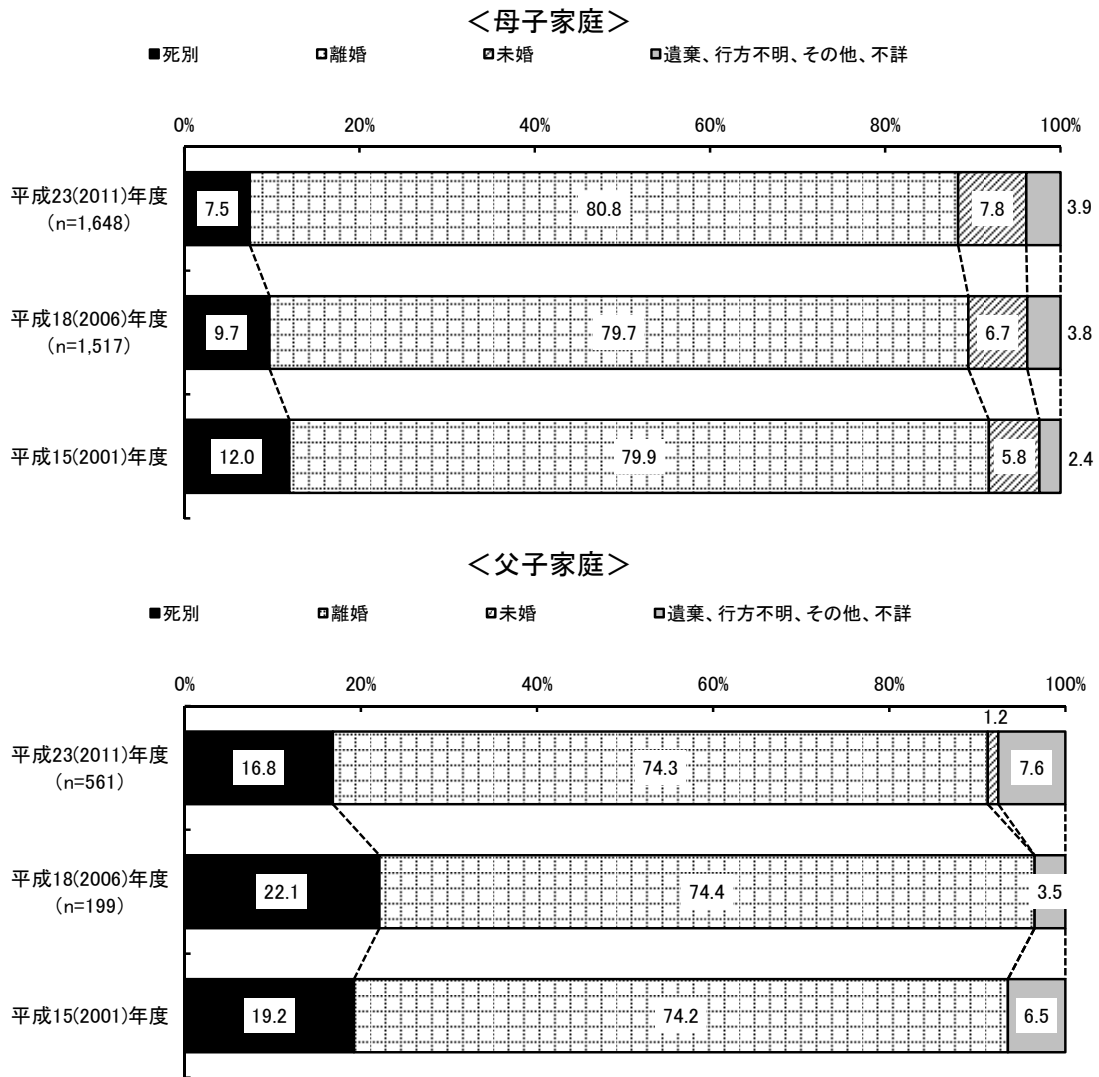


<父子家庭>



資料：平成24年度東京都福祉保健基礎調査「東京の子どもと家庭」

図表Ⅲ－１－３ ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合（全国）



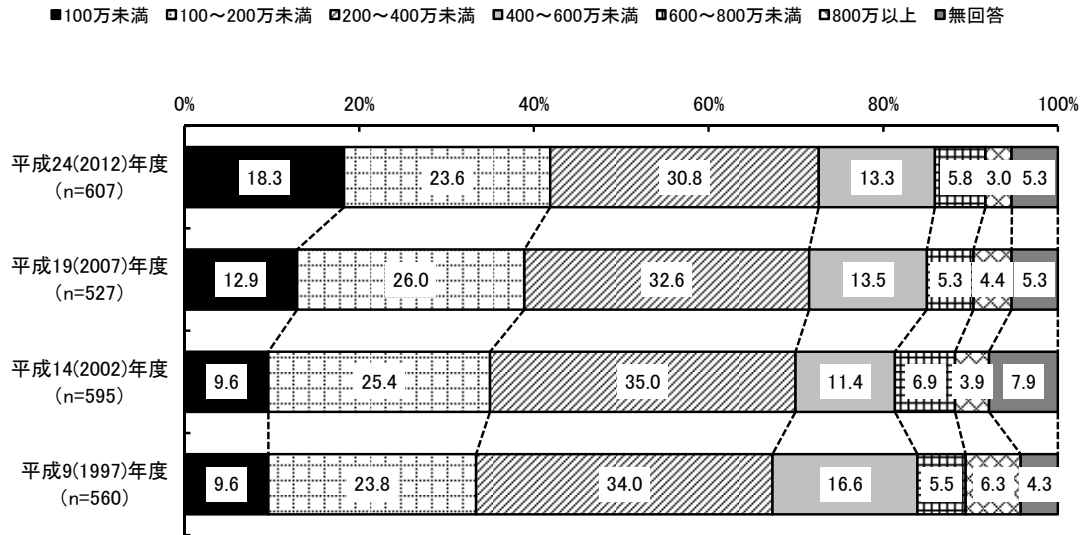
資料：厚生労働省「全国母子世帯等調査」（平成23年度）

Ⅲ 特別な配慮を必要とする男女への支援

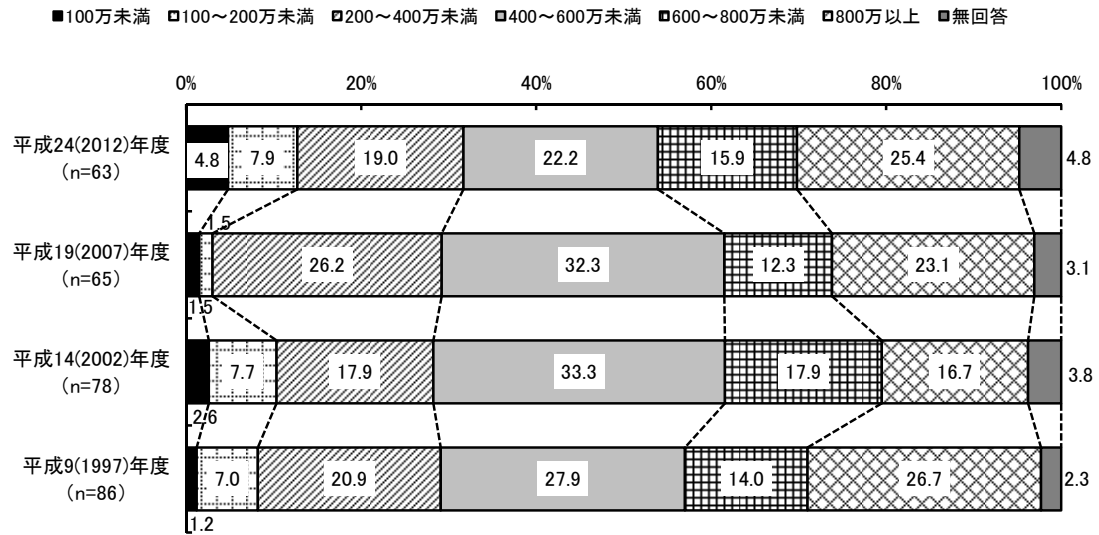
3. ひとり親世帯の収入

都の調査では、平成 24 (2012) 年度の母子世帯は平均収入 400 万円未満が 72.7%、父子世帯では 400 万円以上が 68.3%となっている。

図表Ⅲ－１－４ ひとり親世帯の年間平均収入（都）
 <母子家庭>



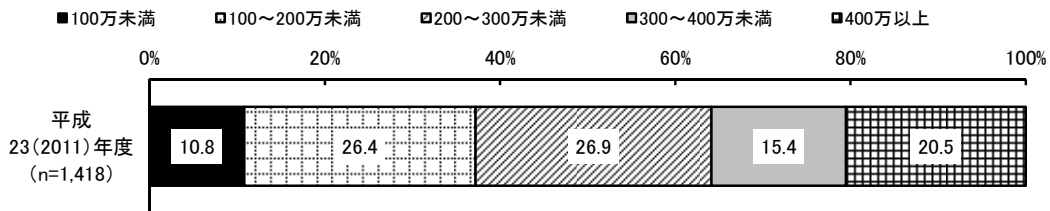
<父子家庭>



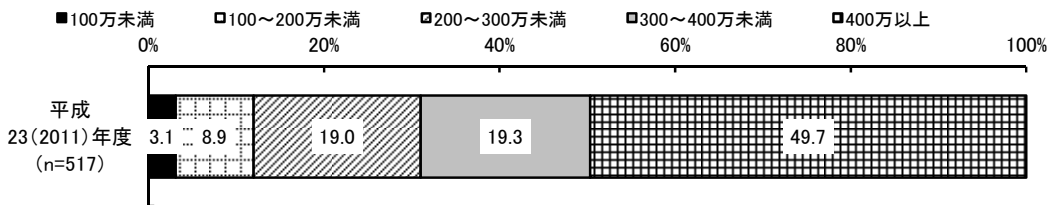
資料：平成 24 年度東京都福祉保健基礎調査「東京の子どもと家庭」

全国調査では、平成 23 (2011) 年度の母子世帯は平均収入 200 万円未満が 37.2%となっている。一方、父子世帯では 400 万円以上が 49.7%、200 万円未満は 12.0%となっている。全世帯の収入との比較では、平成 22 (2010) 年度で全世帯平均が 538 万円であるのに対し、母子世帯が 291 万円、父子世帯が 455 万円となっている。

図表Ⅲ-1-5 ひとり親世帯の年間平均収入（全国）
＜母子家庭＞

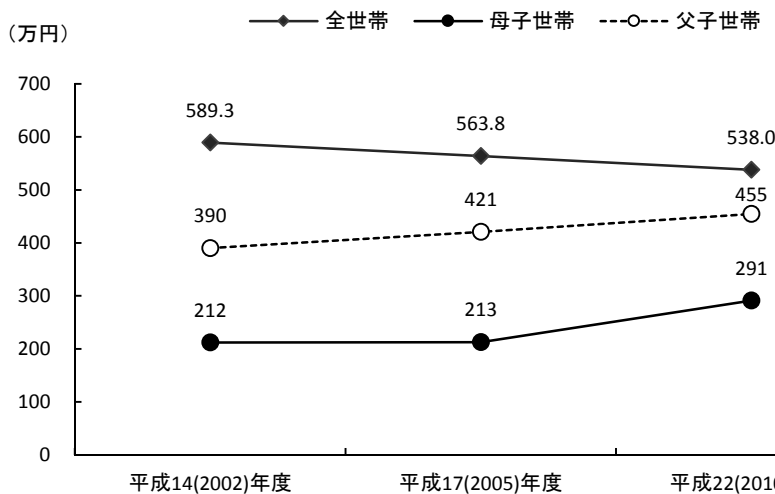


＜父子家庭＞



資料：厚生労働省「全国母子世帯等調査」（平成 23 年度）

図表Ⅲ-1-6 ひとり親世帯の年間平均収入と全世帯の年間平均収入の比較（全国）



注：全世帯については国民生活基礎調査の平均所得の数値。

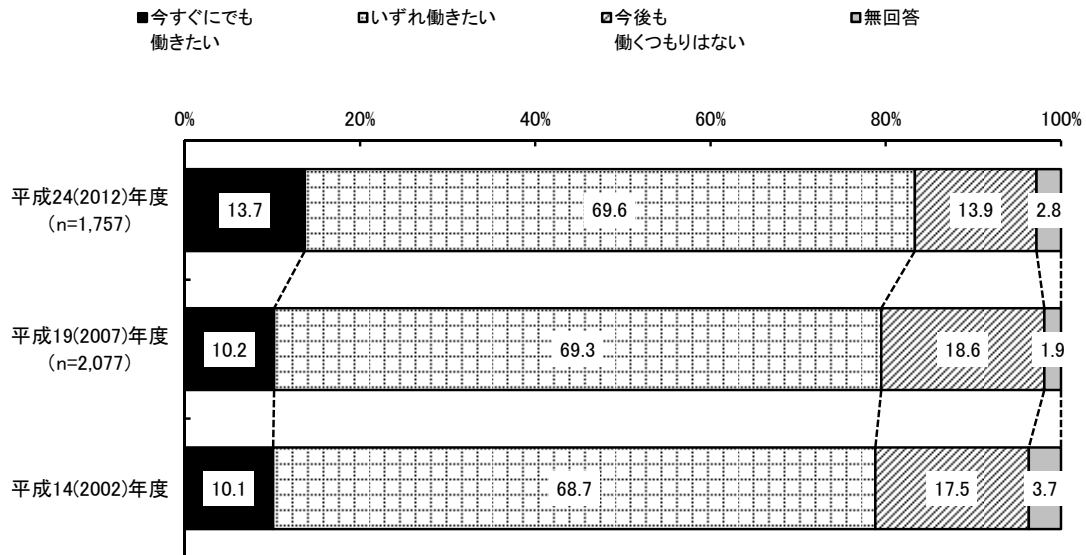
資料：厚生労働省「全国母子世帯等調査」（平成 23 年度）

Ⅲ 特別な配慮を必要とする男女への支援

4. 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等

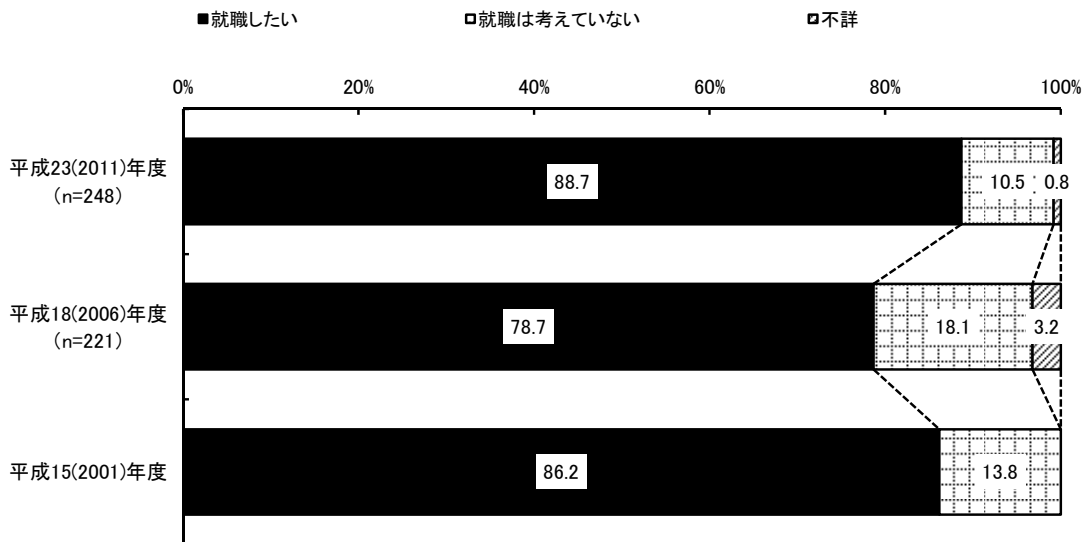
都の調査では、母子世帯の母で就業していないものの就業希望は、83.3%が働きたいと希望している。全国調査においても88.7%が就職を希望している。

図表Ⅲ－１－７ 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等（都）



資料：平成24年度東京都福祉保健基礎調査「東京の子どもと家庭」

図表Ⅲ－１－８ 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等（全国）



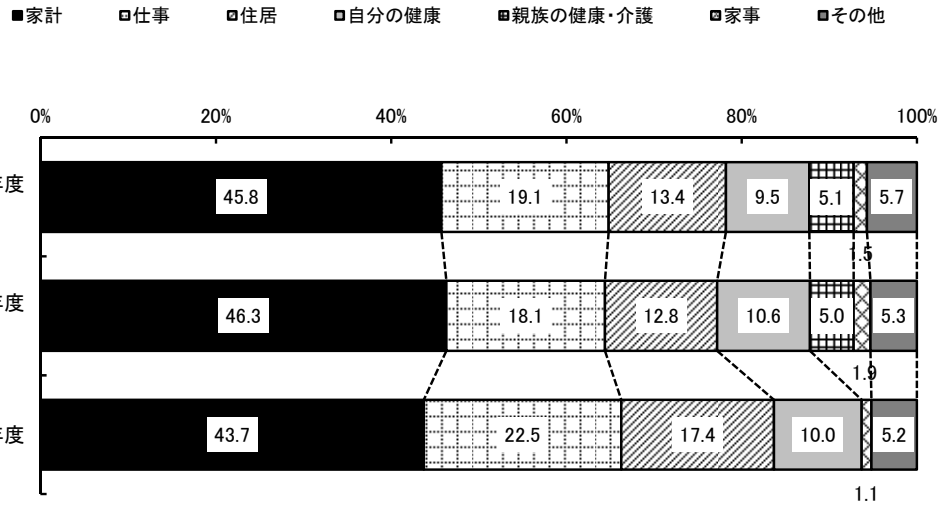
資料：厚生労働省「全国母子世帯等調査」（平成23年度）

5. ひとり親世帯の困りごと

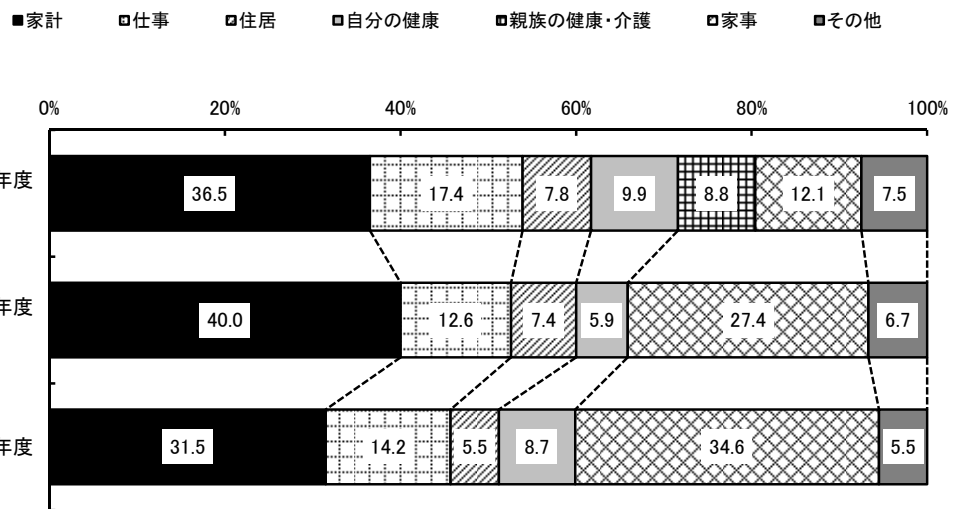
ひとり親等の困っていることは、母子世帯の場合、「家計」が45.8%、「仕事」が19.1%、「住居」が13.4%となっている。父子世帯では、「家計」が36.5%、「仕事」が17.4%、「家事」が12.1%となっており、母子世帯との悩みの違いがみられる。

図表Ⅲ－1－9 ひとり親世帯の困りごと（全国）

<母子家庭>



<父子家庭>



資料：厚生労働省「全国母子世帯等調査」（平成23年度）